



早川 公二 議員 無会派

問 こども達によりよい教育環境を 答 地域に愛される再編校を開校

- 問** 再編事業は、どのように進めてきたか。
- 答** 〔教育部長〕 説明会の開催など丁寧な手順を踏んで進めてきた。
- 問** 令和10年4月開校としている理由は。
- 答** よりよい教育環境を整えるため。
- 問** 校舎の地盤や安全性は。
- 答** 耐震工事は終えており、耐力度も調査済み。
- 問** 既存校舎を活用し、一部新築としているのはなぜか。
- 答** 限りある財源を最大限に活用するため。
- 問** スクールバスの運行の進捗状況は。
- 答** 保護者とのワークショップを行っている。
- 問** 安全対策は。
- 答** アプリを使い見える化を検討。



▲十四山西部小学校

- 問** 学校跡地の活用のかえは。
- 答** 市民の声をしっかりと聞き、将来の投資、地域の活力、民間事業者の需要の観点から検討する。
- 問** 新しい学校の教育をどのように考えているか。
- 答** 〔教育長〕 再編小学校の特徴を活かした教育の展開をする。
- 問** 新校の施設整備を含めた総括を。
- 答** 〔市長〕 地域に愛される再編校を開校させる。

- 問** 車新田地区のまちづくりを行うことになった経緯は。
- 答** 〔建設部長〕 土地所有者から都市的土地利用の相談があり、平成26年度にアンケート調査を実施し検討が始まった。
- 問** 地権者への説明会・意見交換等を、いつからどのような内容で行ったか。
- 答** 平成27年度から勉強会、意向調査報告会、地権者説明会を行った。
- 問** 地権者の同意は得られているか。
- 答** 地権者数割合82・0%、面積割合91・6%の仮同意率。

問 車新田まちづくりの早期実現を

答 令和9年度中に設立認可を目標



▲車新田地区

- 問** 全地権者の同意が必要か。
- 答** 3分の2以上が必要とされているが、85%以上が望ましい。
- 問** まちづくりの進捗は。
- 答** 今年度は事業化検討パートナーと詳細な事業計画や事業費、事業スケジュール等の検討を進めている。
- 問** 事業完了の用途は。
- 答** 設立認可時期の目標を令和9年度中とし、組合設立後の工事期間等のスケジュールは組合と業務代行者によって決定される。
- 【その他の質問】
自治会・コミュニティの今後は